

感研プロジェクト 3.11 G3-3 チーム

サイコロジカルファーストエイド：PFA 研修会、シンポジウムの開催について

1. 研修会とシンポジウム開催の目的について

災害時、地域の混乱の中で支援者、被支援者として専門職や一般市民が密接に関わりあう。そのような状況下では不用意な行為が苦しんでいる人をさらに傷つけることが容易に起こり得る。そのため、発災前に、災害時に支援に携わる可能性があるであろうとなかろうと一般市民も苦しんでいる人を傷つけない基本的なマナーや知識を身につけておく必要があるだろう。

被災者への支援に関する研修プログラムは、著名なもので言うと WHO が推奨する Psychological First Aid(以下、PFA 研修)などがある。しかし、その研修の受講にあたっては、比較的、大都市部に限られている。

災害対応を考えた場合、今回の東日本大震災もそうであるが、大都市部ではない地方での発災がありうる。そして、そのような場合、対応を担う地域社会では、PFA の様な心理学的アプローチには馴染みのない人が多く存在し、仏教などの古くから伝わっている教えの方が馴染みやすいということがある。

そこで、現在、WHO の委託を受ける形で国立精神・医療研究センターが PFA 研修を実施していることから、同センターの講師を招聘し、PFA 研修会の実施とその内容を踏まえた形で、本チームの研究者、研修会講師、研修会受講者によるシンポジウムを行います。

なお、シンポジウムでは、下記の論点についてディスカッションを行い、被災者支援の研修プログラムに仏教理論を組み合わせた形での新たな研修プログラムの開発に向けた検討を行う予定です。

- ①お寺や神社を会場にして開催することには意味があるか？
- ②僧職、神職にある人が研修を受けることに意味があるか？
- ③講演会に参加したことが研修にどのように役立ったか？

<研修会講師>

- ・荻原かおり(東京英語いのちの電話 TELL カウンセリング心理士)
- ・大沼麻実(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 成人精神保健研究部 研究員)

<シンポジウム発言者>

- ・久間泰弘(感研プロジェクト 3.11 G3-3 チーム)
- ・渡部純夫(東北福祉大学総合福祉学部教授)
- ・大沼麻実(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 成人精神保健研究部 研究員)
- ・荻原かおり(東京英語いのちの電話 TELL カウンセリング心理士)

2. 研修会、シンポジウムスケジュール

時間	内容
9 : 30～10 : 00	講師、シンポジスト事前打合せ
10 : 00	開場・受付
10 : 30～12 : 30	PFA 研修① 1. イントロダクション 2. PFA の概論—PFA とは何か。誰に、いつ、どこで行うか。
12 : 30～13 : 15	昼休憩
13 : 15～15 : 15	PFA 研修② 3. PFA の活動原則—ケースシナリオとロールプレイ 4. セルフケアと支援者へのケア
15 : 30～16 : 30	シンポジウム—シンポジストによる発言、研修会参加者とのディスカッション
16 : 45	終了(予定)

サイコロジカルファーストエイド研修会・シンポジウムの報告

1. 研修会について

2名の講師(大沼麻実氏、荻原かおり氏)により会場を2カ所に分ける形で、サイコロジカルファーストエイドの研修会を実施した。35名の参加を得た。



座学だけでなく、参加者によるロールプレイ等が行われ、参加型の研修会であった。

2. シンポジウムについて

研修会終了後に、2名の講師に本学の渡部純夫教授、G3-3チームの久間泰弘氏をシンポジストとしてこころのケアに関して夫々の立場からコメントを頂いた後、研修会参加者を交えてのディスカッションを実施した。

